



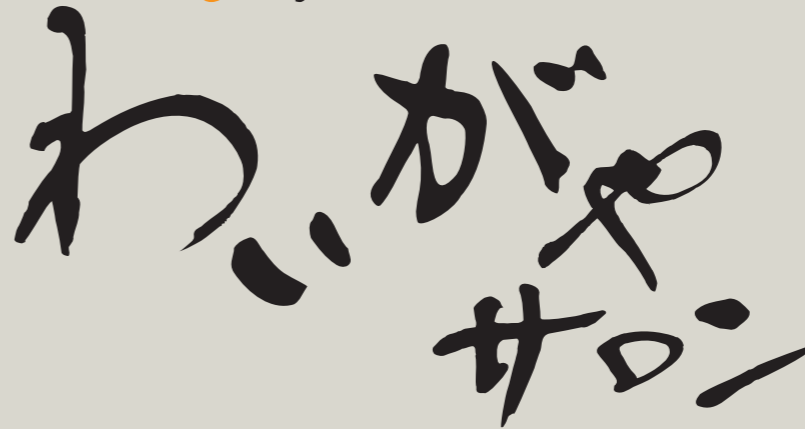
- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐる 平成18年9月19日
講師/佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部长
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
講師/久米えみさん ながのクラッセ会長
樋口敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
講師/鷺沢幸一さん アスレながの事務局長
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
講師/清水隆史さん フォトグラファーほか
常盤昭二さん CMディレクター
- 第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOIGOの設計に参画して 平成19年4月23日
講師/竜野泰一さん 株式会社エーシー工設計 取締役副社長 [一級建築士]
- 第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
講師/荻原健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回 トウガランの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
講師/松島憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回 命のバトンを渡す「ピオトップ」/長野市をピオトップネットワークシティに 平成19年11月14日
講師/松岡保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日
講師/浜このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日
講師/角本浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日
講師/針谷友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
講師/水野守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回 長野バルセイローー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
講師/バドゥ・ピエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン
- 第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
講師/町田良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回 循環備蓄型の農業の実践ー宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日
講師/塩澤研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日
講師/小出陽子さん (同)ふぎっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日
講師/宮城恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
講師/志村雅由さん NPO法人 飯綱高原よっこらしょ/代表理事
- 第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ新監督
- 第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぱ〜 平成22年5月25日
講師/石沢一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日
講師/新谷志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回 逃げないスケルトン ~夢と感動と勇気を~ 平成22年9月15日
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属
- 第26回 Go to J ~J~を長野に...いよいよ地域決勝大会!~ 平成22年10月25日
講師/鈴木政一さん 長野バルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
講師/千村尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
講師/川崎史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
講師/安藤長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回 江戸のエコロジストー茶 平成23年8月30日
講師/マブソン青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
講師/井上裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日
講師/田幸淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日
講師/飯室織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営

- 第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日
講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭
- 第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日
講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回 すべてが一丸となって°ながのの宝もの。を!へ 平成24年4月24日
講師/薩川 了洋さん AC長野バルセイロ監督
- 第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日
講師/小宮山義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 号外 門前まち花遊歩ー牛に引かれて善光寺参りー 平成24年9月1日
- 第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日
講師/塩澤研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事
- 第39回 善光寺参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日
講師/俣田達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日
講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役
- 第41回 自然との共生 平成25年2月28日
講師/藤岡牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日
講師/矢澤秀成さん 園芸研究家/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日
講師/近藤京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回 信州の分水嶺 ~山と川と里~ 平成25年8月22日
講師/栗田貞多男さん 写真家
- 第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日
講師/鶴志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回 地域におけるバイオマス活用について 平成26年1月29日
講師/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回 AC長野バルセイロー私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日
講師/美濃部 直彦さん AC長野バルセイロ監督
- 第48回 わたしにとってのボランティア 平成26年4月16日
講師/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日
講師/浅野 邦子さん 株式会社 第一 代表取締役会長
- 第50回 取材を通してみた長野の魅力 ~長野をもっと元気に!~ 平成26年10月8日
講師/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー
- 第51回 チームマネジメント 平成27年1月19日
講師/本田 美登里さん AC長野バルセイロ・レディース監督
- 第52回 本物のおもてなし ~加賀屋の経営理念とビジョン~ 平成27年3月17日
講師/小田 興之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 第53回 地域の元気をつくる「成長企業」は、ここが違う!~地方の中規模企業が成功するための法則とは?~ 平成27年7月1日
講師/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長
- 第54回 長野から宇宙へ! ~ローカル企業のチャレンジ~ 平成27年8月25日
講師/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役
- 第55回 食を通じて発見 知られざる長野の魅力! 平成27年10月8日
講師/中島 麻希さん 1級フードアナリスト
- 第56回 摩訶不思議!長野の神社の靈感の世界 平成27年11月17日
講師/齋藤 安彦さん 宮司
- 第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏 ~撮影を通して見た信州の魅力~ 平成28年4月2日
講師/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー



NPO法人 長野都市経営研究所

〒380-0834長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp e-mail:nupri@nupri.or.jp



通信

Vol. 58
2016.7



NPO法人 長野都市経営研究所

第58回

真田丸の時代を語る ～時代考証の舞台裏

平成28年7月2日(土) 15:00～16:45

講師／平山 優さん 歴史研究家

■座長:岩野 彰 進行:鈴木隆治 場所/TOiGO 3階学習室

7月初旬のわいがやサロンは、NHK大河ドラマ「真田丸」の時代考証を担当されている歴史研究家の平山優さんをお迎えして、真田三代の歴史の流れに沿って解説いただきました。今回は、その中から厳選したエピソードをご紹介します。

真田丸は、こんな風に見よう。

みなさん、真田丸を見ていただいていると思います。真田丸を有効に見る秘訣を伝授しますと、まずBSで夕方から早い放送が始まります。世間では早く始まる真田丸で「早丸」といわれます。そして本放送の「本丸」を見ます。さらに翌週の再放送「再丸」を見て、もしビデオに録画していたら「録丸」を見ると。4回見るとだいたい理解できるんじゃないかなと思います。

真田家エピソード①

幸綱以前の真田家は謎のなか

真田家の初代は幸綱*です。現在の長野県上田市、真田郷に本拠を構える領主でした。真田家は小県郡を治めた滋野一族の総領、海野家の庶家といわれます。しかし、幸綱以前の本当の歴史は全く分かりません。なぜかという、真田家は家系図を海野家の直系に改ざんし、先祖の痕跡を消してしまいました。本領である松尾城の麓に、真田家のお墓とされる日向畑遺跡があります。幸綱は、村上義清や諏訪頼重と手を組んだ武田信虎に追われて松尾城を捨てて亡命する時に、先祖の墓が暴かれるのを恐れて自分の手で墓を破壊し、その上に土をかけて存在を秘匿したのです。*一般的には、真田幸隆で知られます。信繁の祖父。



ひらやま ゆう 1964年東京都生まれ。立教大学大学院史学科を卒業後、一貫して戦国時代の歴史研究に携わる。山梨県埋蔵文化財センター文化財主事、山梨大学非常勤講師、山梨県史編さん室主査、山梨県立博物館副主管を経て、山梨県立中央高等学校教諭。武田氏研究会副会長。主な著書に「戦国大名領国の基礎構造」、「川中島の戦い(上・下巻)」、「真田三代 幸綱・昌幸・信繁の史実に迫る」等がある

真田家エピソード②

幸綱、砥石城攻略の内幕

天文10年(1541)6月、幸綱の所領を奪った武田信虎は、息子の信玄によって駿河の今川義元のもとに追放されました。本領回復をめざす幸綱は、信玄からの誘いもあって武田軍に身を投じ、信濃攻略の矢面に立ちます。勢力を拡大する信玄は、ついに信州最大の勢力である葛尾城城主の村上義清と衝突し、2度の敗戦を喫しました。

ところが、天文20年(1551)、幸綱は砥石城をあっけなく乗っ取ってしまいます。どのように乗っ取ったかという、このお城には敵味方に分かれた真田の一族が数多く籠城していました。とくに幸綱の弟の矢沢頼綱とその係累の人たちがいて、彼らに調略の手を伸ばしてくどき落としました。それで、彼らの手引きによるものと考えられます。

■武田二十四将の屋敷跡

幸綱は、武田氏館跡(現・武田神社)の正面通りに屋敷を構えていた。このことから、幸綱が信玄に高く信頼されていたことが分かる



真田家エピソード③

信玄の英才教育を受けた昌幸

天文22年(1553)、幸綱は信玄に本領の真田郷を返してもらいました。そのお礼の意味もあるのでしょう、自分の息子を甲府に人質として送りました。この時に差し出された息子こそ、当時7歳の真田昌幸*です。信玄は昌幸を気に入り、自分の近習に抜擢しました。今でいう秘書ですね。ゆくゆくは武田家の重臣にしようと考え、母の実家である武藤家の養子に入れて一門格にもしました。昌幸は信玄に許されて最高秘密会議である軍議の傍聴を許されていた、と甲陽軍鑑にあります。信玄がどこを攻めるのか、どう攻めるのかという采配をくまなく見ていたわけで、昌幸の兵法が信玄譲りであることは確かです。

昌幸は信玄を死ぬまで尊敬しており、関ヶ原の戦いで石田三成に味方するときの条件に、信州一国から甲州を付け加えさせています。信玄の領地を自分の手で奪い返し、思い出深い甲府で隠居したいという意向があったからといわれています。*信繁の父

真田家エピソード④

徳川が築き、上杉が改修した上田城

天正10年(1582)3月、武田は滅びました。ところが、同年6月の本能寺の変をきっかけに、北条、上杉、徳川による旧武田領の争奪戦「天正壬午の乱」が勃発します。本能寺の変が6月2日、徳川と北条の和睦により天正壬午の乱が終わったのが10月28日。たった4ヵ月間に、真田家当主の昌幸は上杉—北条—徳川と味方を切り替え、どさくさに紛れて領土拡張に成功しています。

徳川方の国策となった昌幸は、上杉に攻められそうだと切々と訴え、真田領地の沼田(群馬県沼田市)を北条に譲り渡す条件で徳川に上田城を造ってもらいました。しかし、昌幸は城をありがたくいただいて、後は知らん顔をした。これに怒って徳川が上田城を攻撃すると、上杉景勝に帰属して応援を求めます。上杉の援軍はこの第一次上田合戦には間に合いませんでしたが、戦の後で城に入りました。すると、昌幸は彼らに上田城の大改修をやらせたんですね。昌幸は利口ですよ。城は徳川に造ってもらって、改修工事は上杉にやってもらったんです。

真田家エピソード⑤

信繁が築いた真田丸は武田軍譲り

慶長19年(1614)、真田信繁*は豊臣秀頼の求めに応じて九度山を脱走して大坂城に入り、大阪冬の陣に臨みます。そして、城の一番外側の堀の東南の隅に巨大な砦「真田丸」を造りました。真田丸は丸馬出しと呼ばれる形態をとっていたといわれます。丸馬出しは、武田信玄が山本勘助の考案のもとに造ったものとされ、長野県内のお城では松代城(長野市)、岡城(上田市)、松本城(松本市)などが知られています。

豊臣方の砦は数えるだけで10個くらいありますが、皆攻め落とされてしまいました。真田丸だけが攻め落とされず、そればかりか徳川方に最も多くの犠牲者を出させたわけです。数万に及ぶ死者が出たといわれます。この敗退で危機感を覚えた徳川家康は秀頼に和睦を呼びかけ、その条件の一つである「大坂の堀は埋める」に従い、真田丸も破壊されました。現在、真田丸の跡地は真田山という地名になり、学校が建っています。*一般的には、真田幸村で知られます。

(会場からの質問)

上田城を徹底的に埋めた徳川は、よほど真田が憎かったのか?

それは間違いなくそうだと思います。関ヶ原の戦いに関連して徹底して破壊されたお城は上田城と、石田三成の居城の佐和山城の2つだけです。だから、相当憎らしかっただけでしょうね。

平山講師の熱のこもった語り口に引き込まれ、約1時間半で真田三代の足跡を密度濃く辿ることができました。ドラマの真田丸はちょうど折り返し地点。今後ますます真田一族の活躍から目が離せません。



■上田城跡
現在の上田城跡は、真田氏以降の城主・仙石氏により築城された。真田氏時代の遺構は徳川軍に徹底的に壊され、のこっていない



■真田庵(善名称院)/真田昌幸公四百年忌碑
関ヶ原の戦いの後、昌幸は信繁とともに荒野山麓の九度山で蝸居生活となり、信州上田に戻ることもなく慶長16年(1611)に逝去。屋敷跡の真田庵に四百年忌碑が建つ



■真田信繁戦死の地(安居天神の境内、大阪府天王寺区)
真田信繁(幸村)は、この地で傷の手当てをしていたところ、越前松平家の家臣に討たれたと伝わる

